

このたびは、「浴室ドア」をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・設置の前に...

商品を正しく組立・設置していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・設置については必ず本説明書に従ってください。

お願い

- 商品周辺の防水処理は必ず行ってください。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 設置完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- ドアに照明等の熱源を近づけないでください。
面材や部品等が変形する場合があります。
- 面材を有機溶剤等で拭かないでください。

同梱包部品一覧

姿図			
品名	ハンドルセット	枠取付用釘 (φ2.4×25)	額縁取付用ねじ (φ3.5×20)
個数	1セット	8本	16本

チェックシート

取付時、下記項目の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 枠のねじれ・対角ずれ・ハラミ・つづみのないことを確認しましたか？	
② 枠取付けの際にシーリングをしましたか？	
③ 枠まわりのシーリングをしましたか？	
④ ドア吊込み後、開閉操作の確認を行いましたか？	
⑤ 調整後、ねじをしっかり締めましたか？	

シーリングは必ず実施してください！

「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。
シーリングがされないと、漏水の原因となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。



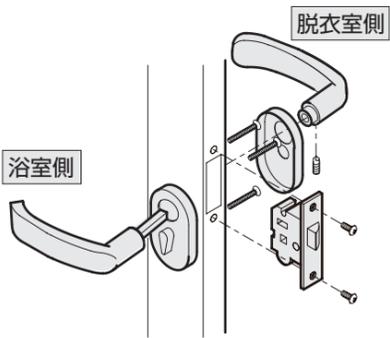
注意

「電動ドライバー使用禁止マーク」で表示している箇所のねじ止めは必ず手締めで行ってください。
電動ドライバーを使用すると、部品を变形させたり、ねじ頭をつぶすおそれがあります。



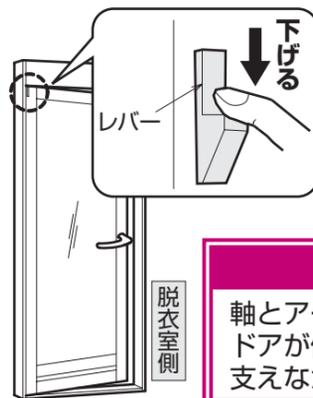
1. ハンドルの取付

ハンドルの取付方法は、ハンドルセットに同梱されている取付説明書をご覧ください。



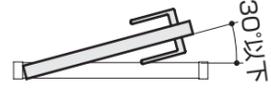
2. ドアの取りはずし

①脱衣室側よりドアを持ちながら吊元側上部のレバーを下げ、ドアの軸を枠からはずしてください。



ポイント

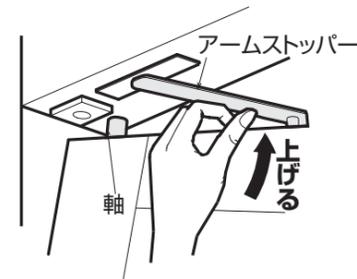
30°以下に開いた状態で行ってください。



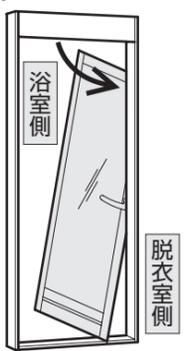
注意

軸とアームストッパーをはずすと、ドアが倒れてきますので、ドアを支えながら行ってください。

②ドアを支えながらアームストッパーを上げてドアからはずしてください。

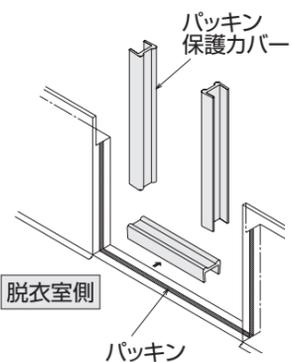


③ドアを持ちながら、浴室側へ倒し、持ち上げてはずしてください。

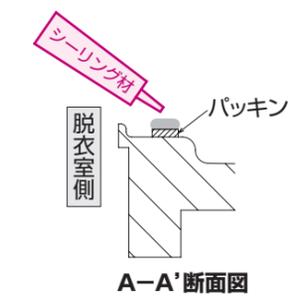


3. シーリング

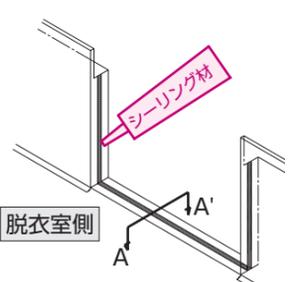
①パッキン保護カバーをはずしてください。



②パッキン表面にシーリングしてください。



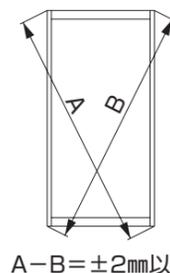
A-A'断面図



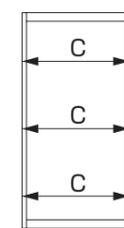
4. 枠の取付

①下げ振り等で垂直度(前後・左右)および右図寸法を確認し、枠と柱の間にスペーサーを入れ込み調整してください。

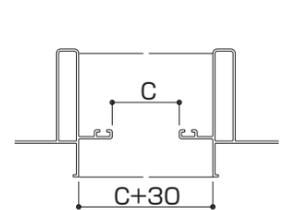
垂直度(前後・左右)を2mm以内としてください。



A-B = ±2mm以内



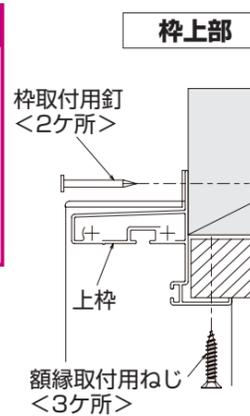
各寸法Cが±2mm以内



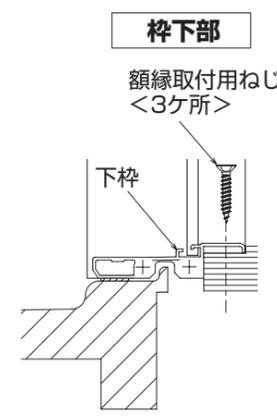
②調整後、枠を取付けてください。

シーリング

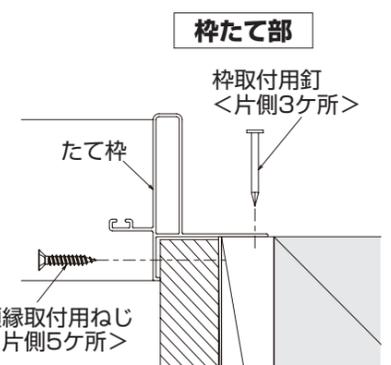
枠取付けには、必ずシーリングを併用してねじ止めしてください。
ねじ止め後、はみ出したシーリング材はきれいに拭き取ってください。



枠上部

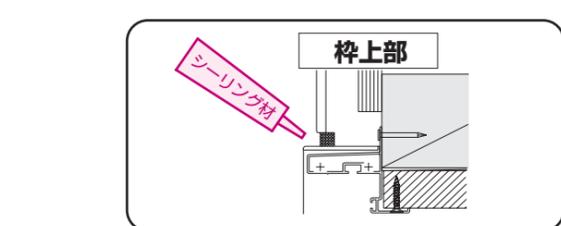


枠下部



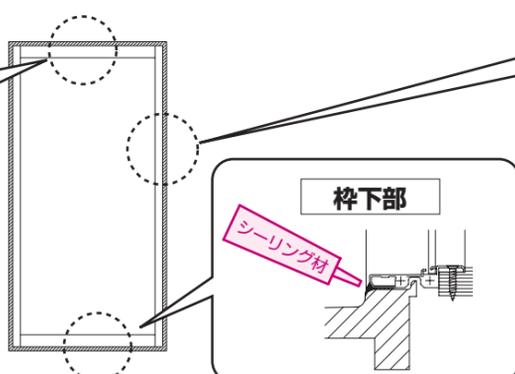
枠たて部

③浴室壁仕上げ後、床・壁・天井と枠のすき間をシーリング処理してください。

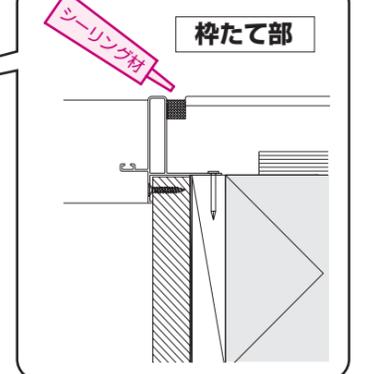


シーリング

シーリングの切れ目がないよう四方まわりを仕上げてください。



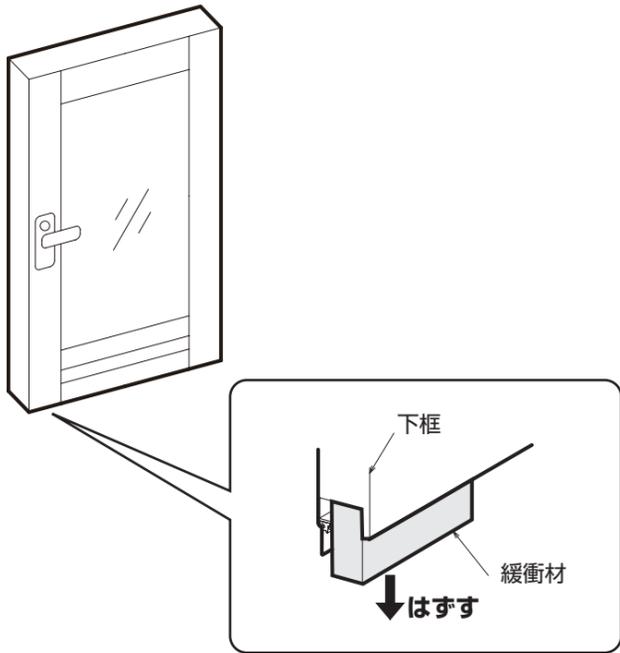
枠下部



枠たて部

5. 緩衝材の取りはずし

戸先側の下枠に貼付けてある緩衝材を取りはずしてください。



6. ドアの吊込み

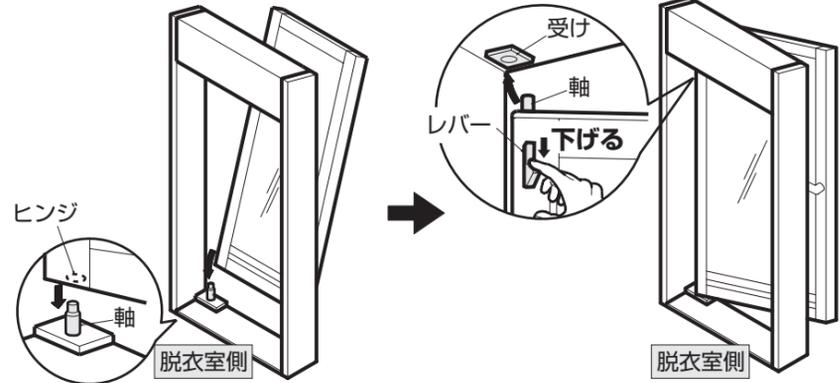
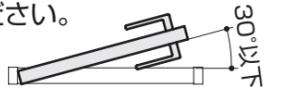
① ドア本体の吊込み

お願い

- ドアは必ず開いた状態で作業を行ってください。
- 作業は脱衣室側から行ってください。

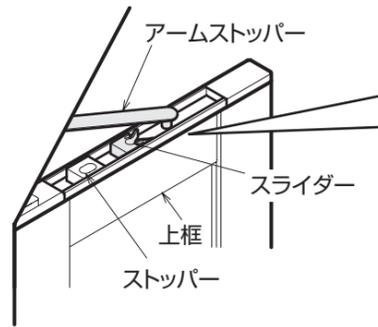
ポイント

30°以下に開いた状態で行ってください。



- ① ドアの下ヒンジを下枠の軸にはめ込んでください。
- ② ドアの上レバーを下げながら、軸を上枠の受けにはめ込んでください。

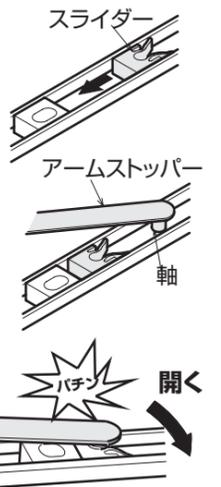
② アームストッパーとスライダの連結



- ① 上枠内にあるスライダをドア吊元側へ寄せてください。

- ② アームストッパーの軸を上枠内に挿入してください。スライダより戸先側であればどこでも良いです。

- ③ そのままドアを、パチンと音がするまで開けてください。アームストッパーの軸がスライダに連結されます。

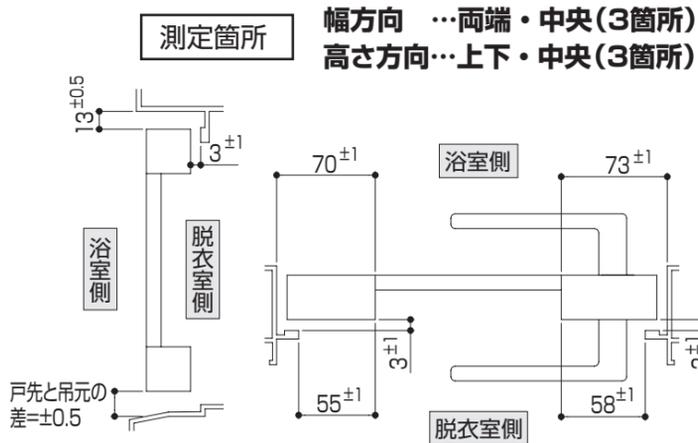


- ③ 開閉確認
吊込み後、必ず開閉の確認を行ってください。



7. 吊込み状態の確認

ドアを基準に枠の設置をチェックしてください。

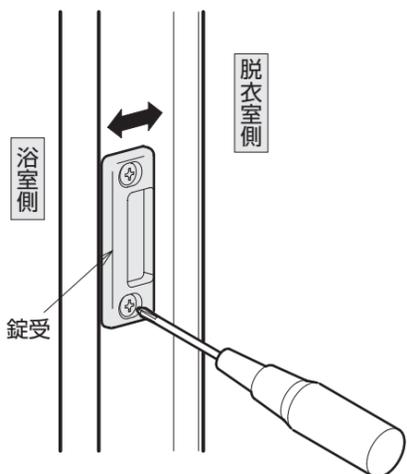


8. 調整

錠受の調整

次のような場合は、錠受のねじをゆるめ、調整を行ってください。

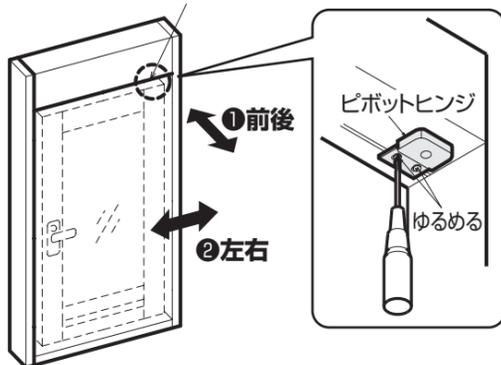
- ラッチのかけが悪い場合 ⇒ 浴室側へ調整
- ドアのガタツキが大きい場合 ⇒ 脱衣室側へ調整



ピボットヒンジの調整

次のような場合は、一旦ドアを取りはずしてからピボットヒンジのねじをゆるめ、調整を行ってください。

ピボットヒンジのねじをゆるめる



① 前後方向の調整

- パッキンの当りが強い場合 ⇒ 浴室側へ調整
- すき間があいている場合 ⇒ 脱衣室側へ調整

② 左右方向の調整

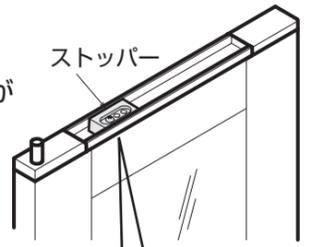
枠とドアのチリがくるっている場合等は、左右に調整してください。

開き角度の調整

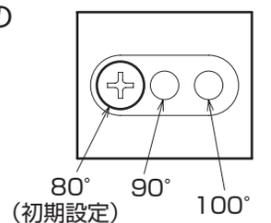
ドアを全開した時に壁やタオル掛けなどと干渉する場合は、開き角度の調整を行ってください。

① ストッパーの調整

ドアの上枠内部にはストッパーが取付いています。ストッパーをずらしねじ止め位置を変更することで、開き角度を調整できます。

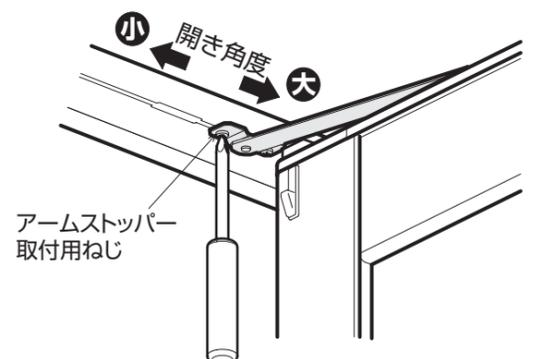


出荷時は、ストッパーは吊元側の穴にねじ止めしてあります。開き角度を大きくしたい場合は、取付穴位置を変更してください。



② アームストッパーの調整

アームストッパーの固定位置をずらして開き角度を調整してください。(初期設定は80°) アームストッパー取付用ねじを2個ゆるめて調整してください。



お願い

すべての調整において、調整後は再度ねじをしっかりと締めてください。



注意

あくまでも補助的な調整で、設置のくいをカバーするものではありませんのでご注意ください。